未示	(上耒高寺	轉門学校	開講年度	令和06年度 (Z	2024年度)	1 12 x	科目	電気回路	î ∐			
科目基础			,	,	/							
11日 <u>年</u> 8 科目番号	ACIDTK	20200			科目区分	ī]門 / 必	 修				
7日田 <u>7</u> 受業形態		授業			1		•					
又来心思 開設学科		電気工学	· 天义		対象学年	単位の種別と単位数 履修単位: 2 対象学年 2						
用政子件 開設期		後期	-11=f		週時間数	4						
加以初 教科書/教	71-7		81,電気回路2	(実教出版)	一一一一一	17	<u> </u>					
8/14音/30 30当教員	(1/2)		71, 电双凸路2 关,舘泉 雄治	(天秋山瓜)								
			大, 码水 临心									
<u>到達目標</u> 1 正数		ナス国油数				音味を理解	解し雷多	同路の計質	に囲いステと	ができる		
3.RL 4.共振[C 直列回路 ¹ 回路や電力(やRLC並タ こついての暑)扱うことができる 別回路における電圧 基本的な計算を行う E流電流の計算を行	瞬時値,角速度,角 と電流の計算を行う ことができる. うことができる.	ことができる.	, B. M. C- 	жо - Б х	v—uu>	12/13	,,, cc 5.		
レーブリ												
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>			理想的な到達し	ベルの日安	標準的な到達レク	ベルの日ギ		未到達し	ベルの目安			
				•						生を重与に		
E弦波交流	流の基礎 			数,実効値,位相等の意味を し,電気回路の計算を行うこ できる。 できる。			を電気回 できる.	路の計算	実効値, 位相 に用いること	ができない		
E弦波交流	流とベクト	ル	正弦波のベクト 解し, ベクトル できる.	一胜し、ヘクトル衣示を付うことが 一ができ			弦波のベクトル表示を行うこと できる. 正弦波ができ			を行うこと		
RLC直	列・並列回記	路		各やRLC並列回路 D計算を行うことが	RLC並列回路の電圧,電流の計			RLC並	基本的なRLC直列回路や RLC並列回路の電圧,電流の 算を行うことができない.			
交流の電力			交流の電力にこし, それらの記	ついての意味を理解 †算を行うことがで				交流の電 ことがで	力についての きない.	計算を行う		
記号法を用いた交流回路の計算			記号法の意味を	を理解し, 記号法を 電流の計算を行うこ	記号法を用いた電圧,電流の計算 を行うことができる.			記号法をを行うこ	ーーーー 用いた電圧, とができない	電流の計算 ・		
		頁目との関										
效育方法	去等											
既要		正改造态	※本同敗に七/+ス冊									
W.X		11132/100 2	三川 四田 に ひ い る 虫	!り扱い方を習得し <u>,</u>	電気・電子工学を原	覆修する(のに必要	な基本的な	能力を養う.			
	 め方・方法	教科書の	演習問題を中心と	<u>り扱い方を習得し,</u> して講義を行う. 同						, 理解を深		
	め方・方法	教科書のめ確実な	演習問題を中心と さものとすること.	して講義を行う. 同	時並行で進められる	る電気回路	路演習 🏻	で多くの演	習問題を解き			
	め方・方法	教科書の め確実を 電気回路)演習問題を中心と さものとすること. 路は演習問題を自分	して講義を行う. 同自身で解かなければ	時並行で進められる	る電気回路	路演習 II るだけて	で多くの演	習問題を解き			
受業の進む 主意点		教科書の め確実な 電気回路 並行で追	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同	時並行で進められる	る電気回路	路演習 II るだけて	で多くの演	習問題を解き			
受業の進程 注意点 受業の原	属性・履何	教科書の め確実な 電気回路 並行で追 多上の区分	演習問題を中心と ものとすること. 路は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同自身で解かなければ	時並行で進められる うけいない. 講覧 題を解くことが必要	る電気回距 義を受ける 要である.	路演習 II るだけて	で多くの演	習問題を解き	題や, 同時		
受業の進程 注意点 受業の原		教科書の め確実な 電気回路 並行で追 多上の区分	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同自身で解かなければ	時並行で進められる	る電気回距 義を受ける 要である.	路演習 II るだけて	で多くの演	習問題を解き	題や, 同時		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書の め確実な 電気回路 並行で追 多上の区分	演習問題を中心と ものとすること. 路は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同自身で解かなければ	時並行で進められる うけいない. 講覧 題を解くことが必要	る電気回距 義を受ける 要である.	路演習 II るだけて	で多くの演	習問題を解き	題や,同時		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書のめて、	演習問題を中心と ものとすること. 路は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同自身で解かなければ	時並行で進められる うけいない. 講覧 題を解くことが必要	る電気回距 義を受ける 要である.	路演習 II るだけて	で多くの演	習問題を解き	題や,同時		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書のめて変	演習問題を中心と ものとすること. 路は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同自身で解かなければ	時並行で進められる うけいない、講 題を解くことが必要 は、「遠隔授業対応	る電気回距 義を受ける 要である.	路演習 Ⅱ	で多くの演 はなく,教 □ 実務額	習問題を解き	題や,同時		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書のめ確実な電気回路並行で進	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路 ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる うりに付かない、講 題を解くことが必要 □ 遠隔授業対応	る電気回路 義を受ける 要である.	格演習 II るだけて 到達目	で多くの演 はなく,教	習問題を解き	題や,同時		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書のめて変	演習問題を中心と きのとすること. は演習問題を自分 められる電気回路 ICT 利用	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる 身に付かない、講 題を解くことが必 □ 遠隔授業対応	る電気回路 義を受ける。 要である。	各演習 II るだけて 到達目 流,角	で多くの演 はなく,教 実務結 悪 調波数,交流	習問題を解き科書の演習問経験のある教	題や,同時		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書の め確実だ 電気回路 並行で進 多上の区グ シング 週 1週 2週	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路 ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる うに付かない、講 題を解くことが必要 □ 遠隔授業対応	る電気回路 養を受ける。 選ごとの 正弦波を 交流回路	各演習 II るだけて 到達目 流, 角原 ベクト における	で多くの演 はなく,教 」 実務	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教	題や,同時景による授		
受業の進 注意点 受 業 の原 〕 アクラ	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の め確実な 電気回路 並行で進 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週	演習問題を中心と ものとすること。 は演習問題を自分 められる電気回路 □ ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る電気回路 義を受ける。 選ごさい。 正弦波を 正弦波を での で変変を で変変を である。	各演習 II るだけて 到達目 流, 角 ベクト における	で多くの演 はなく,教 」 実務組 票 別波数,交流 レで表すこと 3抵抗,コン	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 この表し方を理 を理解する アデンサ,ココ	題や, 同時 員による授 理解する (ルの各性)		
受業の進 注意点 受 業 の原 〕 アクラ	属性・履作 〒ィブラーニ	教科書の め確実だ 電気回路 並行で進 多上の区ケ ング 週 1週 2週 3週 4週	演習問題を中心と ものとすること。 は演習問題を自分 められる電気回路 ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回 直列回路	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る電気回路 義を受ける。 過ご弦波を の交 正弦波回路す 直列回路	各演習 II	で多くの演 はなく,教 」 実務が 票 別波数,交流 レで表すこと る抵抗,コン つ電流の計算	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 であるし方を理 を理解する デンサ,コロ	題や, 同時 夏による授 上解する (ルの各性)		
受業の進む 注意点 受業の原 〕 アクラ	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の め確実だ 電気回路 多上の区分 シング 週 1週 2週 3週 4週 5週	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る電気回路 義を受ける。 ごとなった。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	各演習 II	で多くの演 はなく,教 ま務約 悪 別波数,交流 いで表す。こと も電流の計算	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 で表し方を理 をデンサ、コロ でアンサ、コロ ででつことか	題や, 同時 夏による授 解する (ルの各性) 「できる 「できる		
受業の進 注意点 受 業 の原 〕 アクラ	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の め確実だ 電気回路 並行で進 多上の区グ シング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る電気回路 義を受ける。 ごとなった。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	各演習 II	で多くの演 はなく,教 ま務約 悪 別波数,交流 いで表す。こと も電流の計算	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 であるし方を理 を理解する デンサ,コロ	題や, 同時 夏による授 解する (ルの各性) 「できる 「できる		
受業の進 注意点 受 業 の原 〕 アクラ	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の め確実だ 電気回路 多上の区分 シング 週 1週 2週 3週 4週 5週	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問	時並行で進められる すに付かない. 講 題を解くことが必 □ 遠隔授業対応	る電気回路 義を受ける. 週 正 弦流 波回解回 回回 立 交 を 路す 路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路路	路演習』 るだけて 到達目相 流へクトノ にる の電圧に の電圧に	で多くの演 はなく,教 実務を まりで表すこと が電流の計算 で電流の計算	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 で表し方を理 をデンサ、コロ でアンサ、コロ ででつことか	題や, 同時 夏による授 解する (ルの各性) できる できる		
受業の進 注意点 受 業 の原 〕 アクラ	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の め確実だ 電気回路 並行で進 多上の区グ シング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	演習問題を中心と ものとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 方 , , , , ,	時並行で進められる	る電気回路 養をである。 ご弦弦流理列列流発理列回回回割ま、	路演習『 るだけて 到達月月 ベクおける のの電圧に 演習教材	で多くの演 はなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 とこまが、 とこまが、 ないで表すこと ないで表すこと ないで表すこと ないで表すこと ないで表すこと ないで記述の計算 ないで記述の計算 ないで記述ので記述	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 で表し方を理 を理解する デンサ,コロ を行うことと ででうことと でできることと	題や, 同時 夏による授 解する (ルの各性) できる できる		
受業の原理を表現である。	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の 数確実な 電気回路が 電気で進 多上の区グ こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	演習問題を中心と 活のとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 ッ方 , , 回路	時並行で進められる	高電気回路を変わる。 ここの では、 ここの では、 ここの では、 ここの では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 できない。 ここの でいます。 できない。 これにはいい。 できない。 これにはいい。 できない。 これにはいい。 できない。 これにはいい。 できない。 これにはいい。 これにはいいい。 これにはいい。 これにはいいい。 これにはいい。 これにはいい。 これにはいいい。 これにはいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいい。 これにはいいいい。 これにはいいいいいいいい。 これにはいいいいいい。 これにはいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	路演習 II	で多くの演 はなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 の表し方を理 を理解する アデンサ, コイ でを行うこと がでを行うこと でを行うことと でを行くこと でを解くこと	題や、同時 夏による授 解する (ルの各性) できる べできる べできる		
受業の原理を表現である。	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の め確実だ 電気回路 多上の区分 シング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	演習問題を中心と おのとすること. は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う. 同自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 が方 の 回路	時並行で進められる 「身に付かない、講 の題を解くことが必 の意隔授業対応	電気 で	路演習『 到流べにるののの演ににるののの演ににる	で多くの演 はなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まなく,教 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。 まない。	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 し方を理 サーフ ここと かずを行うここと かずを行うここと カラを理解する 有効電力,無	題や、同時 夏による授 解する (ルの各性) できる べできる べできる		
受業の原理を表現である。	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の 数格書の 数確実だ 電気(で) が 多上の区グ こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	演習問題を中心と は演習問題を自分 は演習問題を自分 められる電気回路 □ ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回 直列回路 交流回路の計算 中間試験 交流の電力と力率 皮相電力,有効電	して講義を行う。同自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 が方 の 国路	時並行で進められる 「身に付かない、講真題を解くことが必要 」 遠隔授業対応	る電気 である。 選正正交を直並交教交交算複 である。 でな弦流理列列流科流流が素 の交を路す路路路、路路きと	路演習『 到流 べにるののの演ににるべりける 電電圧圧 はおける ベクトリー・アード かんしょう かんしょく かんしん かんしょく かんしゃ かんしょく かんしょく かんしょく かんしょく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	で多くの演 にはなく,教 にはなく、教 にはなくない。 にはなくない。 にはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 し方を理 サーフ ここと かずを行うここと かずを行うここと カラを理解する 有効電力,無	題や, 同時間による投資による投資できる。 できる できる ま効電力の はままな こうしゅう はいかい かいしゅう かい できる しゅう かい こう はい こう にい こう はい こう にん こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう にん こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう はい こう にん こう		
受業の原理を表現である。	属性・履作 Fィブラーコ 画 3rdQ	教科書の 教科書の 教を確実が 電気行で進 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	演習問題を中心と は演習問題を可とと。 は演習問題を自分 められる電気回路 □ ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回 直列回路 並列回路 交流回路の計算 中間試験 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数とベクトル	. して講義を行う. 同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 が方 , の B.カ, 無効電力 , I, Zの表示法	時並行で進められる 「身に付かない、講真 題を解くことが必要 「遠隔授業対応	高、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	路演習 『 到流 べにるののの演ににる べ用いた	で多くの演 にはなく,教 にはなく、教 にはなくない。 にはなくない。 にはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 の表理が、こことが でで行ううここと でで行ううここと でを解する ででない。 ででは、ことが でを解する。 では、ことが でを解する。 では、ことが でを解する。 では、ことが できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	題や, 同時間による投資による投資できる。 できる できる ま効電力の はままな こうしゅう はいかい かいしゅう かい できる しゅう かい こう はい こう にい こう はい こう にん こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう にん こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう はい こう にん こう		
受業の原理を表現である。	属性・履作 〒イブラー <u>:</u> 画	教科書の 教科書の を 電気でで進 多上の区分 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	演習問題を中心と は演習問題を自分 められる電気回路	して講義を行う。同自身で解かなければ演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問演了IIでたくさん問意力, 無効電力, 無効電力, エスの表示法 川回路の計算	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高、養要 週正正交を直並交教交交算複複記 気をである。 こ弦弦流理列列流科流流が素素号の と波波回解回回回書回回で数数法 の交を路す路路路、路路きとをに	路演習 3 到流べにるののの演ににるべ用ような。	で多くの演 であくの演 ではなく、教 実務が表している。 の電波数、交流となる。 の電流の計算でで、 のでで、 のでで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 の表理・デーーでを行ううことが でを理がする。 ででは、こととが でを理解する。 では、ことが でを理解する。 では、ことが できる。 を対 できる。 では、ことが できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	題や, 同時間による投資による投資できる。 できる できる ま効電力の はままな こうしゅう はいかい かいしゅう かい できる しゅう かい こう はい こう にい こう はい こう にん こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう にん こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう はい こう にん こう はい こう はい こう にん こう		
受業の原理を表現である。	属性・履作 Fィブラーコ 画 3rdQ	教科書の 教科書の を上の区分 多上の区分 週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 13週	演習問題を中心と は演習問題を自分 は演習問題を自分 められる電気回路 「ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回 直列回路 交流回路の計算 中間試験 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数によるし 記号法による並列	して講義を行う。同自身で解かなければ演習 II でたくさん問演習 II でたくさん問演習 II でたくさん問意 II でたくさん問題 II でたくさん問題 II スの表示法 II 回路の計算 II 回路の計算	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 義要 週正正交を直並交教交交算複複記記 気をである。 の交を路ず路路路、路路きとをににの交を路す路路路、路路きとをにに	路演習 3 一 到流べにるののの演ににるべ用よよ	で多くの演 にはなく、教 にはなくないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 の表理が、こことの を理が、ここここでで でを理解である。 ででででででする。 ででででででする。 でででででする。 でできる。	題や、同時間による投資による投資できる。		
受業の原理を表現である。	属性・履作 Fィブラーコ 画 3rdQ	教科書の 教科書の を を を を を を を を を を を を を	演習問題を中心と は演習問題を自分 められる電気回路 「ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回 直列回路 並列回路 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数とよるし、 記号法による直列	して講義を行う。同自身で解かなければ演習 II でたくさん問演習 II でたくさん問演習 II でたくさん問意 II でたくさん問題 II でたくさん問題 II スの表示法 II 回路の計算 II 回路の計算	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 義要 週正正交を直並交教交交算複複記記 気をである。 の交を路ず路路路、路路きとをににの交を路す路路路、路路きとをにに	路演習 3 到流べにるののの演ににるべ用よよッとは、クおのの演ににるべ用よよッとは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、クロのでは、	で多くの演 であくの演 ではなく、教 にはなく、教 にはなくないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 の表理・デーーでを行ううことが でを理がする。 ででは、こととが でを理解する。 では、ことが でを理解する。 では、ことが できる。 を対 できる。 では、ことが できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	題や、同時間による投資による投資できる。		
受業の原理を表現である。	属性・履作 Fィブラーコ 画 3rdQ	教科書の 教科書の を上の区分 多上の区分 週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 13週 13週	演習問題を中心と は演習問題を自分 は演習問題を自分 められる電気回路 「ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とベクトル R, L, C 単独の回 直列回路 交流回路の計算 中間試験 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数によるし 記号法による並列	して講義を行う。同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 が方 の の I, Zの表示法 回路の計算 回路の計算	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 義要 週 正正交を直 並交教交交算複複記記キの電 をで ご弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定回 ける. の交を路す路路路、路路きとをにに木を	路演習 3 一到流べにるののの演ににるべ用よよッ理 1 目角 りけて	で多くの演 にはなく、教 震動なく、教 震動な表が、ことと の電流を改善の電程を表する。 のででである。 のでではなく、教 にはなく、教 にはなる。 にはなく、教 にはなくないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 の表理が、こことの を理が、ここここでで でを理解である。 ででででででする。 ででででででする。 でででででする。 でできる。	題や、同時 関による授 による授 による授 ができる ができる ができる ができる		
受業の原理を表現である。	属性・履作 Fィブラーコ 画 3rdQ	教科書の 教科書の を を を を を を を を を を を を を	演習問題を中心と は演習問題を自分 は演習問題を自分 められる電気回路 「ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差と、(C 単独の區 直列回路 並列回路 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数によるを 記号法による並列 回路に関する定理	して講義を行う。同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 が方 の の I, Zの表示法 回路の計算 回路の計算	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 義要 週 正正交を直 並交教交交算複複記記キの電 をで ご弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定回 ける. の交を路す路路路、路路きとをにに木を	路演習 3 一到流べにるののの演ににるべ用よよッ理 1 目角 りけて	で多くの演 にはなく、教 震動なく、教 震動な表が、ことと の電流を改善の電程を表する。 のででである。 のでではなく、教 にはなく、教 にはなる。 にはなく、教 にはなくないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	習問題を解き 科書の演習問題を解き 科書の演習問題を解き かました できる コース を見る を理か から ここここ さい できる スター できる スター はんしょう から できる スター はんしょう から できる スター はんしょう から できる スター はんしょう から かいせい かいがい せい かいがい はい	題や、同時 関による授 による授 による授 ができる ができる ができる ができる		
受業の源は意見を表現しています。	属性・履作 Fィブラーコ 3rdQ 4thQ	教科書の 教科書の を を を を を を を を を を を を を	演習問題を中心と は演習問題を自分 められる電気回路 一 ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とクトル R, L, C 単独の回 直列回路 空流回路の計算 中間試験 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数によるを によるを によるを によるを に対して に対して を表して を表して を表して に対して を表して を表して によるを によるを によるを にはまると にはまると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になる になる になる になる になる になる になる になる	して講義を行う。同自身で解かなければ演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問演習IIが表しています。 一方の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 義要 週 正正交を直 並交教交交算複複記記キの電 をで ご弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定回 ける. の交を路す路路路、路路きとをにに木を	路演習 3 一到流べにるののの演ににるべ用よよッ理 1 目角 りけて	で多くの演 にはなく、教 震動なく、教 震動な表が、ことと の電流を改善の電程を表する。 のででは、流のの計算による。 いでは、流のの計算による。 いでは、に、のは、は、に、のは、は、に、のは、は、に、に、は、に、は、に、は、は、は、は	習問題を解き 科書の演習問題を解き 科書の演習問題を解き かました できる コース を見る を理か から ここここ さい できる スター できる スター はんしょう から できる スター はんしょう から できる スター はんしょう から できる スター はんしょう から かいせい かいがい せい かいがい はい	題や, 同時 関による投 による投 にできる ができる ができる できる		
受業の 注意点 受業の 同 で 受業計画	属性・履作 Fィブラーコ 3rdQ 4thQ	教科書の 教科書の 電並の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11月 11月	演習問題を立と。 は演習問題を自分との は演習問題を自分との は演習問題を自分との は演習問題を自分との は方式のの でない。 でない。 でない。 でない。 ではいるでは、 では、 ではいるでは、 ではないるでは、 ではないるでは、 ではないなでは、 では、	して講義を行う。同自身で解かなければ演習 II でたくさん問演習 II でたくさん問演習 II でたくさん問意力,無効電力, 無効電力, I, Zの表示法 回路の計算 回路の計算	時並行で進められる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る 義要 週 正正交を直 並交教交交算複複記記キの電 をで ご弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定回 ける. の交を路す路路路、路路きとをにに木を	路演習 3 一到流べにるののの演ににるべ用よよッ理 1 目角 りけて	で多くの演 にはなく、教 震動なく、教 震動な表が、ことと の電流を改善の電程を表する。 のででは、流のの計算による。 いでは、流のの計算による。 いでは、に、のは、は、に、のは、は、に、のは、は、に、に、は、に、は、に、は、は、は、は	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 を理ンプを行行行解理効 を理ンプをででででででででででの所を理るる。無 ががでせ、 はなどとよる。無 ががでせ、 はなどととなる。 はなどととなる。 はなどととなる。 はないでででのでででのでは、 はないでででのでは、 はないででは、 はないででは、 はないででは、 はないでは、 とないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 とないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないと、 はない。 はないと、 はないと、 はないと、 はない。 はない。 はない。 はない。 もな、 はな。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	題や、同時間による接触できる (ルの各性) (できるる) (できるる) (できるる) (できるる) (できる) (でき		
受業の原理を表現である。	属性・履作 Fィブラーコ 3rdQ 4thQ	教科書の 教科書の を を を を を を を を を を を を を	演習問題を中心と は演習問題を自分 められる電気回路 一 ICT 利用 授業内容 交流の発生と表し 位相差とクトル R, L, C 単独の回 直列回路 空流回路の計算 中間試験 交流の電力と力率 皮相電力, 有効電 複素数によるを によるを によるを によるを に対して に対して を表して を表して を表して に対して を表して を表して によるを によるを によるを にはまると にはまると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると にはなると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になると になる になる になる になる になる になる になる になる	して講義を行う。同 自身で解かなければ 演習 II でたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問 がたくさん問	時並行で進められる ・	る 義要 週 正正交を直 並交教交交算複複記記キの電 をで ご弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定回 ける. の交を路す路路路、路路きとをにに木を	路演習 3 一到流べにるののの演ににるべ用よよッ理 1 目角 りけて	で多くの演 にはなく、教 震動なく、教 震動な表が、ことと の電流を改善の電程を表する。 のででは、流のの計算による。 いでは、流のの計算による。 いでは、に、のは、は、に、のは、は、に、のは、は、に、に、は、に、は、に、は、は、は、は	習問題を解き 科書の演習問 経験の表現 でデーデーを理かった。 でででですった。 ででででの でででの でででの でででの でででの でででの でででの で	題や, 同時 関による授 関による授 ができる。 ができる。 できるる。 できるる。 できるる。 できるる。 できるる。 できるる。 できるる。 できるる。		
受業の進 注意点 受業の原 でである。 受業計画	属性・履作 Fィブラーコ 3rdQ 4thQ	教科書の 教科書の 電並の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11月 11月	演習問題を立と。 は演習問題を自分との は演習問題を自分との は演習問題を自分との は演習問題を自分との は方式のの でない。 でない。 でない。 でない。 ではいるでは、 では、 ではいるでは、 ではないるでは、 ではないるでは、 ではないなでは、 では、	して講義を行う。同自身で解かなければ演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問意を表しています。	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る 義要 週 正正交を直 並交教交交算複複記記キの試電をで ご弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定験気 受あ と波波回解回回回書回回で数数法法ヒ理問回のである法とをにに示を題	路 る 到流べにるののの演ににるべ用よよッ理の習 ばけて 達 ,クお 電電電習おお クいるるフ解解説 目角 りけ 圧圧圧 教けけ りた 直並のす説 (で多くの演 にはなく、教 震動となり、実務が震動となり、変更では、流のででである。では、なり、ないででである。では、ないででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 ででででででででででいます。 でででででいます。 でででででいます。 ででででいます。 ででででいます。 でででいます。 でででいます。 でででいます。 でででいます。 でででいます。 ででいます。 ででいます。 ででいます。 ででいます。 ででいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいまな。	題や、同時間による接触できる (ルの各性) (できるる) (できるる) (できるる) (できるる) (できる) (でき		
受	属性・履作 Fィブラーコ IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	教科書の 教科書の 電並の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11月 11月	演習問題を 中心と は演習問題を自分と は演習問題を自分と は演習問題を自分と のられる電気回路 で流の発生と表し 位相差とクトル R, L, C 単独の 直列回回路 交流可能 立流可能 で流の配する で流の電力 と力率 を有数による る では、よる る で でいまして を表して をまるて	して講義を行う。同自身で解かなければ演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問題がある。 「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る 義要 週 正正交を直 並交 教 交 交算 複 複記 記 キの 試気 受あ ご弦 弦 流理列 列 流 科 流 流 が 素 素 号 号 ル定 験 に した波 波 回解回 回回 書 回 回で 数 数 法 法 ヒ理 問 し がる の 交 を 路す 路 路 路 、 路 路き と を に に ホを 題 の ご	路 る 到流べにるののの演ににるべ用よよッ理の	で多くの演 にはなく、教 震波数・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	習問題を解き 科書の演習問題を解き でででせい。 ででは、こここでは、一般では、ここでは、一般では、ここでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	題や, 同時 関 でよる		
受業の源は意見を表現しています。	属性・履作 - イブラーニ 	教科書の 教科書の 電並の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11月 11月	演習問題を自分とという。 は演習問題を自分とのできる。 は演習問題ではのできる。 は演習問題でも自分とできる。 は演習問題でも自分とできる。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	して講義を行う。同自身で解かなければ演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問演習IIでたくさん問題がある。 「「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る 義要 週 正正交を直 並交 教 交 交算 複 複記 記 キの 試気 受あ ご弦 弦 流理列 列 流 科 流 流 が 素 素 号 号 ル定 験 に した波 波 回解回 回回 書 回 回で 数 数 法 法 ヒ理 問 し がる の 交 を 路す 路 路 路 、 路 路き と を に に ホを 題 の ご	路 る 到流べにるののの演ににるべ用よよッ理の	で多くの演 にはなく、教 震波数・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	習問題を解き 科書の演習問 経験のある教 ででででででででででいます。 でででででいます。 でででででいます。 ででででいます。 ででででいます。 でででいます。 でででいます。 でででいます。 でででいます。 でででいます。 ででいます。 ででいます。 ででいます。 ででいます。 ででいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいます。 でいまする。 でいます。 でいまな。	題や, 同時 関 でよる		
受	属性・履作 Fィブラーコ IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	数の電子の 製造 製造 を上しが 過 1週 1週 1週 1週 10週 10週 10週 11週 11	演習問題を自分とという。 は演習問題を自分とのできる。 は演習問題ではのできる。 は演習問題でも自分とできる。 は演習問題でも自分とできる。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	して講義を行う。同自身で解かなければ演習IIでたくさん問情でである。 は	時並行で進められる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	る。義要 週正正交を直並交教交交算複複記記キの試気をでいた。こ弦弦流理列列流科流流が素素号号ル定験が、抗相ので数数法法と理問が、おいては、ないでは、これを関して、これを関いて、これを関いて、これを関	路る 到流べにるののの演ににるべ用よよッ理の 計学	で多くの演 にはなく、教 震波数・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大	習問題を解き 科書の演習問題を解き でででせい。 ででは、こここでは、一般では、ここでは、一般では、ここでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	題や、同時間による接触できる (ルの各性) (できるる) (できるる) (できるる) (できるる) (できる) (でき		

			R、L、C素子にお	ける正弦波電圧と電	霊流の関係を説明で	きる。	4	
			瞬時値を用いて、	交流回路の計算がで	ごきる 。		4	
	フェーザ表示を用いて、交流回路の計算ができる。						4	
			インピーダンスと	アドミタンスを説明	用し、これらを計算	できる。	4	
			キルヒホッフの法	則を用いて、交流回	国路の計算ができる)	4	
			合成インピーダン 計算ができる。	·スや分圧・分流の ^ま	考え方を用いて、交	流回路の	4	
			直列共振回路と並	列共振回路の計算が	ができる。		4	
			相互誘導を説明し	、相互誘導回路の記	†算ができる。		4	
			理想変成器を説明	できる。			4	
			交流電力と力率を	説明し、これらを記	†算できる。		4	
				直列回路等の単工ネ 特徴を説明できる。	ルギー回路の直流	応答を計	4	
			RLC直列回路等の 答の特徴を説明で	複エネルギー回路 <i>0</i> さる。)直流応答を計算し	、過渡応	4	
			重ねの理を用いて	、回路の計算ができ	 きる。		4	
	網目電流法を用いて回路の計算ができる。				4			
	節点電位法を用いて回路の計算ができる。				4			
			テブナンの定理を	回路の計算に用いる	ることができる。		4	
評価割合								
	試験	演習課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0		100
基礎的能力	40	30	0	0	0	0		70
専門的能力			0	0	0	0		30
専門的能力 20 1 分野横断的能力 0 0		0	0	0	0	0		0
	-				1			